



No. 97  
2023年  
2月19日

日本バプテスト同盟内海部会・瀬戸内海伝道団  
委員長:石塚多美子  
722-2411  
広島県尾道市瀬戸田町  
瀬戸田378-1  
瀬戸田バプテスト教会内

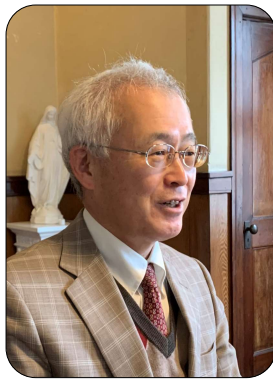
巻頭メッセージ

「信仰と生活の基準」

Ⅱテモテ3章14〜17節

瀬戸田バプテスト教会(安下庄) 中川純良師

中川純良です。二〇二二年四月に瀬戸田バプテスト教会より伝道師として招聘され、安下庄の地で礼拝を守っています。今回は巻頭メッセージを担当させていただくことになりました。よろしくお願いたします。



テモテは、幼い頃から母と祖母、そしてパウロから聖書を学び、聖書に親しんで育ちました。この信仰の先輩である人たちのことをよく考え、どんな困難があっても、どんなに苦しくても自分が救われた時の確信に固く立ち、わき道にそれることなく歩むようにと、パウロから勧められま

す。そして、その確信の基になる聖書について教えられます。

聖書は、主に人間が三位一体の神様について信じなければならぬこと、そして神様が人間に求めておられることを教えています。これらはすべて、神の霊感を受けて書かれています。人間の考えや知識だけで書かれたものではありません。ですから聖書は、キリストによる救いについての教えをわたしたちに十分に与えることができます。それだけではなく、救いについての間違った理解と行いに対して警告を与えてくれます。そして、本来の正しい教えと行いに、わたしたちを修正し、引き戻してくれるのです。

わたしたちは、救われたからといって、すぐに完全な善い行いができるわけではありません。しかし、わたしたち

に与えられた聖霊が聖書を通して「どのような善い行いをもできるように」、わたしたち一人ひとりを霊的に育て訓練して成長させてくれます。こうして一人ひとりの賜物に応じた「善い行い」ができるように「十分に整えられるのです」。

今、わたしたちが読んでいる聖書は、旧約聖書の創世記から新約聖書のヨハネの黙示録まで、全部で六十六巻あります。そのすべてに、わたしたち人間の救いについて、神の御心が示されています。それらをすべて、わたしたちは日本語で読むことができます。しかし、現代の日本に生きるわたしたちには、理解の難しいところもあります。聖書は一九〇〇年、それ以上昔に、中東とその周辺を中心に書かれたものですから当然のことです。人々の置かれている社会環境も考え方も、今とは違います。もちろん、最も重要な教えは、そのまま理解することができるよう、配慮はされています。

いずれにしても聖書を読むときには「キリスト・イエス

への信仰を通して」読むことが大切です。イエス様への信仰を通して聖書を読むときにこそ、救われることについての知恵を正しく理解することができ、神様から祝福された素晴らしい生活を送ることができますようにされるのです。

また、礼拝や聖書研究会、その他の様々な集会の中で、聖書の説き明かしを聞くことも大切です。テモテも、パウロの説教、母や祖母から御言葉を聞いて救われました。二人または三人がイエス様のお名前によって集まるところには、イエス様もその中心に必ずいてくださり、わたしたちに与えられている聖霊によって理解を助けられます。わたしたちもイエス様への信仰を通して聖書に親しみ、わたしたちの信仰と生活の規準として、これに従うことができるよう、祈り求めたいと思います。



# 部会行事報告

## 定期総会

二〇二三年四月二十九日向島キリスト教会にて内海部会の定期総会が行われ、代員9名、委任2名、陪席4名で昨年度の活動の振り返りと新年度の計画について話し合いました。

ここ数年、天候不良とコロナ禍のため夏期レクレーションを取りやめていましたが、今年度は感染状況をみながらぜひ開催したいということで、東広島市の憩いの森公園での実施にむけて準備することとなりました。

信徒研修会については、講師をお願いして、リモートと対面で実施するこ



定期総会 於：向島教会

ととなりました。二月二十三日の実施すべく準備をしています。講壇交換も再開することとしました。

また、内海部会規約改正が行われました。同盟と教会は所属関係ではなく団体の連合体であるので、「所属」という文言を「加盟」に変更しました。

また、これまで毎年総会時に確認を行っていた申し合わせ事項「総会代員について信徒の代員を2名とする」一件について、規約に定めることとしました。

最後に、各教会の近況を分かち合い、祈りをもって総会を終えました。

(向島 綿谷剛)



定期総会 於：向島教会

## 秋季レクレーション

十月十日(月・祝)内海部会秋のレクレーションが開催されました。

朝方までしっかりと止まない雨に悩まされましたが、ピンポイント予報で現地は九時以降に雲が切れるとのこと、祈る思いで東広島市憩いの森公園に到着しました。少し肌寒い中でしたが、無事に雨はやみ、タウン・カン・クツプ師のリードで開会礼拝からのスタートとなりました。

午前中は、礼拝と散策でしたが、その間に、初めての試みとして、焼き芋(さつま芋とジャガイモ)を作りましたが、パーベキューはやりませんでした。ピクニックシートをひろげ、それぞれのお弁当にあつあつの焼き芋が加わり、とても豊かなランチとなりました。

ランチのあとは、交わりの時です。久しぶりに集っての「瀬戸の海から」の全体賛美は、本当にうれしく恵まれた気がしました。その時の賛美は、映像と共に、JB1月号に掲載したQRコードで読み取れますので、ぜひ、ご覧下さい。

賛美と各教会の分かち合いのあとは、綿谷剛子さんの腹話術です。私たち人間の罪をイエスさまが贖ってください。心が清くされたことを、色を



秋季レクレーション：東広島市・憩いの森公園

使つて人形の「トコちゃん」を通してメッセージをもつことができました。

その後、1時間ぐらい、巨大遊具がある遊び場で大人も子どもも元気に活動しました。

最後は、石塚多美子師の閉会礼拝で終わりました。3年ぶりに部会のレクレーションが再開でき、みなさんとのつながりも実感した時でした。主に感謝です。参加者は18名でした。

参加した皆さんの声を第六面に掲載していますので、ご覧下さい。

(瀬戸田 石塚多美子)

# 新年礼拝

一月九日（月・祝）午前十時半より、内海部会新年礼拝がリモートで行われました。参加は、4教会17名でした。

礼拝メッセージは大谷孝志先生で、コリントの手紙第二4章7～18節から「主に期待し、祝福を求めよう」という題で説教して下さいました。

私たち一人ひとりが霊的に成長していくことを何よりも神さまが望んでおられること、そのために、必要なものを常に備えてくださっていることを大谷師のお母さまの食育のことやヤベツの祈りの例をあげながら、具体的に語って下さいました。一人ひとりが霊的に成長していくとき、それは目に見えないけれども、やがて、目に見える形で教会の成長へと繋がっていくのだと希望を抱くことができました。

礼拝後は、綿谷則子さんの明るい司会で、各参加者の個人的な今年の抱負や祈りの課題を聞き、その後、各教会の課題を牧師から聞きました。最後は、各教会の参加者が、部会のそれぞれの教会を覚えて祈り、十二時に閉会となりました。

（瀬戸田 石塚多美子）



2023年 新年礼拝 リモート集会

## 新年礼拝説教

向島 大谷孝志

### 「主の祝福を求めよう」

新しい年を迎え、この一年各々の教会の現状を振り返ると、コロナ禍の中で休んでいた部会のレクリエーションを

行えた。ウェブであっても多くの集会で共に語り合い、励まし合う機会も持った。人間の力の弱さ、限界はあるが、共にという願いを主が助け、多くの恵みを与えられた。部会の諸教会は確かに小さいが、私達は希望を持つことができる。それぞれが神の教会であり、

神に祝福を求めることができるから。現状がどう見えようとも、私達には希望があり、平安がある。私達は、神がそれぞれの地の人々に福音を宣べ伝え、主の証人として遣わし、その為に教会がキリストの体なる教会として、励まし合い、お互いの向上に心掛けるよう望んでいるから。今日はその為に必要な事として御言葉と共に学ぼう。

①いつも喜んでいなさい。②絶えず祈りなさい。③どんな事にも感謝しなさい。の三つの勧めがエテサロニケ5:16に記されている。

私達キリスト者は神のご支配の内に生きています。私達を愛し導く神が望むことを行うなら平安を与えられると知ろう。まず私達自身が、人生と教会の将来に希望を持ち、安心して自分の現実を見つめ、今自分に出来る事は何かを主に尋ね求めよう。私達の為に主が既に計画、将来と希望を与える計画を立てていると信じよう。全てを主に委ねることがなすべき第一歩と知ろう。確かに、内海部会の諸教会は長い間小さな群れのままでが、希望がある。

信徒一人一人も様々な限界を持ち、たとえ土の器であっても、その内に神の偉大な力を納めていると、主はコリント4:7で教えている。私達は、自分が何者であるかを知るなら、私達は更なる希望、新しい希望を持つことができる。

主は今、一人一人を優しい目で見つめている。主が部会内の一つ一つの教会を建てたのは、各々の地域の人々に神様の恵みの素晴らしさを伝える為。

その為に、神はそれぞれの教会が成長するよう望んでいる。今は停滞、弱体化しているように見えても、どの教会も成長途上にある。成長できる。何故ならパウロがピリピ1:6で「あなたがたの間で良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成してくださると、私は信じています」と言うように、私達もそれを信じれば良い。信じれば、そこから将来への確かな歩みが始まるから。不安はあるかもしれない。しかし、子供が栄養が足りなくなると成長が鈍くなったり、止まったりしてしまうように、私達が十分に成長できないでいるとするなら、親が子に十分の栄養を与えて育てようとするように、神様は御言葉、恵みという豊かな栄養を与えて、成長させようとしているのに、それを感謝と喜びをもって戴いていなかったからと気付き、遠慮せずに戴こう。神様は

私達に成長して欲しいのだから、遠慮無しにご馳走を戴こう。だからと言って無理する必要はない。私は子供の頃、納豆が食べられなかった。母は、先ず一粒ご飯の上に載せ、食べるまで待った。一粒は直ぐに食べられたように記憶している。次の日は二粒を載せた。

大いに祝福し、わたしの地境を広げてくださいますように」を自分の祈りにしよう。

二粒には抵抗があり、食べられないとそれを母は自分で食べ、次の日も二粒を置いた。それが食べられた日の翌日は三粒を置くというように、我慢強く慣らせ、私を納豆大好き人間に変えた。

私達自身が自分への神様の祝福を遠慮しないで求めよう。先程も言った通り、神様は私達一人一人に祝福を与え成長させようとしているのだから。主イエスも「求めなさい」「探しなさい」「門を叩きなさい」と言う。他者の為

時間を無理せず増していこうと思いついで努力をすれば良い。その内に、気が付くと、もっともって教会大好き、主イエス大好きになっている筈。

神様の為の私の働きの場、祈りの対象者。神様は私の言葉を待つ人を、私を通して救いに導こうとする人を、私達が生きる神の国の中に、つまり私の周囲に与えている。私の領土を広げてとの求めに依って、その人を私の信仰生活の中に引き入れてくれる。それが私達が信じる主。主の守りと導きを感じながら生きていこう。主は、その人に信仰に興味を持たせたり、私に接近して来たりする機会を不思議な形で与える。私達の教会生活、信仰生活の範囲が広がっていき、それが教会成長に繋がる。

私達も少しずつ、聖書を読み、祈る時間を無理せず増していこうと思いついで努力をすれば良い。その内に、気が付くと、もっともって教会大好き、主イエス大好きになっている筈。

神様の引き出しは無尽蔵。そこに私達一人一人の為の無尽蔵な恵みが詰まっているから、私を祝福して下さいと遠慮しないで、一生懸命求めよう。

神様が求める成長には二つの種類がある。

「憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜を得た助けを戴く為に、大胆に恵みのみ座に近づこうではありませんか」とあるように、その時こそ神に頼り、神に近づく好機。恐れ尻込みしたら、悪魔の思う壺。神が求めるような教会の成長はおぼつかなくなる。安心して、主の為、教会の兄弟姉妹の為に、全力で、最善を尽くして生きられるように、主の権威と力に期待し、主の祝福を求め、先ず目に見えない成長である、信

①目に見える成長＝礼拝や集会出席者の増加。

徒個人の霊的成長に努めよう。主は求めに依って、信仰を、教会を充実させ、礼拝や集会出席者の増加という目に見える成長を与えてくれる。何故なら、主が何よりもそれを望んでいるから。この一年、主に祝福を求め、主の望みに依って私達、教会を目指して行こう。

②目に見えない成長＝信徒個人の霊的成長

(向島キリスト教会 牧師)

私達は、神が自分達の教会の成長を求めていることを感謝をもって受け止めよう。箴言19:21に「人の心には多くの計らいがある。主の御旨のみが実現する。」とある。自分達の教会の成長を御旨と信じていることが出発点。その為に、神が具体的に求めている先の三つの点を忠実に、先ず一人一人が霊的に成長しよう。その結果が、礼拝や集会の出席者の増加と言った見えない成長に繋がる。その霊的成長の為に、歴代誌上4:10のヤベツの祈り、「わたしを

私達人間は弱いので、誘惑、試練に遭うと後退したり、挫折しそうになる。でも恐れる必要はない。ヘブル4:16に

「憐れみを受け、恵みにあずかって、時宜を得た助けを戴く為に、大胆に恵みのみ座に近づこうではありませんか」とあるように、その時こそ神に頼り、神に近づく好機。恐れ尻込みしたら、悪魔の思う壺。神が求めるような教会の成長はおぼつかなくなる。安心して、主の為、教会の兄弟姉妹の為に、全力で、最善を尽くして生きられるように、主の権威と力に期待し、主の祝福を求め、先ず目に見えない成長である、信

徒個人の霊的成長に努めよう。主は求めに依って、信仰を、教会を充実させ、礼拝や集会出席者の増加という目に見える成長を与えてくれる。何故なら、主が何よりもそれを望んでいるから。この一年、主に祝福を求め、主の望みに依って私達、教会を目指して行こう。

皆さん、こんにちは。今回、内海部会女性会委員長の向島キリスト教会の水戸川です。二年間、向島教会が当番となりますので、よろしくお願いいたします。

内海部会女性会は、2年ごとに、広島平和教会、瀬戸田教会、向島教会の3つで2年ずつ当番をしています。私は二回目の委員長となるので、前回の経験を活かしたかと思えます。今、前回と大きく違うのは、コロナ

禍でオンライン会議を取り入れたことです。内海部会女性会の活動はもちろんです。BWA合同祈禱日にもオンラインで内海部会の皆さんが参加できたことは大きな恵みでした。

内海部会女性会の当番のあり方は過去に幾度となく検討されたようですが、コロナ禍でオンラインを取り入れたことを機に、思い切って変えてみてはと思いましたが。当番制にするのではなく内海部会に当局を置いて各教会から一人代表を出して運営したらどうでしょうか。その場合、仕事の負担を減らすために、総会などをコロナが収束してもZOOMなどで行うなどの工夫をしてみました。いかがでしょうか。私たちの教会の女性会でも話し合っているところです。内海部会女性会が、もっとシンプルで一人ひとりが参加しやすく身近な存在となったらと願っています。

「神様のなさることは、すべて時にかなって美しい。」伝道者の書3:11

(向島 水戸川佳子)

主の御名をほめたたえます。コロナ禍は続いていましたが、今年9月十八(日)講壇交換をすることが出来たので主に感謝しています。但し、小豆島教会の場合、台風の影響でフェリーが出なかつたため、リモートになりました。

主の御名をほめたたえます。コロナ禍は続いていましたが、今年9月十八(日)講壇交換をすることが出来たので主に感謝しています。但し、小豆島教会の場合、台風の影響でフェリーが出なかつたため、リモートになりました。

## 女性会

## 教師会

今年の教師会を殆ど、内海部会の委員会後にしました。四月二十九日(金)部会総会後、九月五日(月)部会委員会後(リモート)、九月二十六日(月)内海関西合同教師会、その後部会教師会(リモート)、十月十日(月)秋のレクリエーション後、十一月十二日(土)部会委員会後(リモート)などです。部会の教会のことを話しあったり、お互い、それぞれの教会の様子などを聞いたり説明したりした後、一緒にお祈りをしました。今年も、部会の全ての教会にクリスマスのカードを送りました。主に感謝します。

(広島 トウン・カン・カップ)

### 講壇交換報告

新型コロナ感染を避ける為、中止していた講壇交換を再開し、二〇二二年九月十八日に行われました。それぞれの教会で奉仕をされた先生方の感想等をお読み下さい。

(向島 大谷孝志)

#### 【小豆島バプテスト教会】

トウン・カン・カップ

久しぶりに小豆島教会の兄弟姉妹に会えると講壇交換を楽しみにしていましたが、強い台風が近づいて来てしまいました。どんなことがあっても行けるのならば行くと思っていたのですが、電話で聞いて見ましたら、台風の影響

により、岡山・小豆島フェリーが出ないということでした。諦めず、リモートで何とかならないかと思いきや小豆島教会の姉妹達と電話やメールで相談したら、出来ると言われたので、近くのカラオケ室を使わせて頂き、オンライン礼拝をしました。隣の部屋から、歌声や音楽の音が大きくなって心配しましたが大丈夫でした。礼拝後も楽しい交わりが出来ました。嬉しかったです。神様と小豆島教会の皆さんに感謝しています。



小豆島バプテスト教会 クップ師(リモート)

#### 【向島キリスト教会】

中川純良

当日の朝、妻と二人で岩国から、向島キリスト教会の礼拝に出席しました。ナビで問題なく到着し、最初に見た教会堂は、新しさと広い駐車場が印象的でした。車での移動が多い地方の教会では、礼拝に出席される方々の停める

駐車場の整備が必要不可欠であると感じました。礼拝前は、その日歌う讃美歌の練習が行われ、その後礼拝が始まりましたが、礼拝式順も瀬戸田とほぼ同じでしたので違和感なく参加できました。また、初めてお会いする方々ばかりでしたので、あいさつも兼ねて証しを交えて説教させていただきました。これからも良き交わりをもつことができるよう祈ります。

礼拝後は、教会の皆さんが、清掃など教会の奉仕をされていましたが、一人ひとりがそれぞれに「分に応じた」奉仕をされている姿に励まされる思いがいたしました。

また、機会がありましたら、どうぞよろしく願っています。



向島キリスト教会 中川純良師

#### 【瀬戸田バプテスト教会】

大谷孝志

この日は杉野徹さんの義兄の納骨があり、瀬戸内海の生口島でキリスト者としてその生涯を過ごした杉野唯三兄のお墓参りも兼ねてご遺族がたくさん集まり、礼拝にも出席されました。故杉野唯三兄の生前の良き証しを見る事ができました。



瀬戸田バプテスト教会 大谷孝志師

#### 【安下庄集会】

石塚多美子

今年の講壇交換は、安下庄祈りの家の礼拝を担当してくださっている、中川純良伝道師(二〇二二年四月より)もメンバーに加えて行いました。そして、調整の結果、私が安下庄礼拝の担当となりました。瀬戸田バプテスト教会の中で、第五日曜日がある月には、中川師と講壇交換をしているので、普段と変わらずという感じでした。しかし、去年と違うのは、この四月に移住されて来たクリスチャンの岡本さんが毎週礼拝をささげていることです。私も、主日礼拝を大切にされて喜んで礼拝に来られる岡本さんと共に礼拝がささげられて励まされています。この日は、祈りの家の管理者である山口さんもミサの時間帯の関係で礼拝に来て下

さり、三人での礼拝となりました。写真は、花咲く郷 祈りの家正面入り口です。



安下庄集會  
石塚多美子師

### 【広島平和キリスト教会】

井上正之

九月十八日の内海部会講壇交換に小豆島バプテスト教会の代務者というこゝとで参加させていただきました。その日は西日本に強い台風が襲来するとの天気予報が数日前から出ており、広島に行けるのかどうかと気をもんでいた。それでも何とか広島に行くことができ、広島平和キリスト教会の皆さんと一緒に礼拝を捧げることができました。感謝です。

教会のその日の礼拝は子どもと大人の合同礼拝でした。子どもたちは保育園児ぐらいから中学生ぐらいまで年齢の幅があり、讃美歌を元気に皆で賛美し、熱心に御言葉に耳を傾けられている姿が印象的でした。フィリピン出身の方と国際結婚されたご家族が何組もあり、それぞれ家族全員で礼拝に出席しておられました。教会に集わられてい

る皆さんが神の家族として、とても暖かい交わりを作られている楽しい教会だと感じました。

礼拝後は出席者皆で賑やかに写真撮影をしました。ただコロナ感染予防と台風の影響が気になるということで時間的には十分な交わりをもつことは出来ませんでした。とても楽しい一日を過ごさせていただきました。感謝です。

なお、日本基督教団出版局発行の『信徒の友』二〇二二年十二月号に、広島平和キリスト教会牧師トウン・カン・クップ先生がミャンマーの過酷な状況を報告されています。主のご加護の内に平和が訪れますようにお祈り致します。



講壇交換 広島平和キリスト教会 井上正之師

# 秋季レクリエーションに参加して

## 秋季レクリエーション

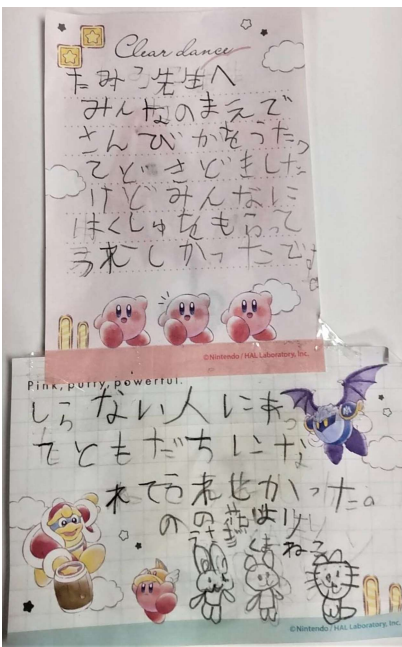
### 参加者の声

#### 【瀬戸田から・曾我美佐樹さん】

娘に懇願されて参加しました。親になるまで教会などに縁がなく・・・とまどいはありました。でも、自然の中で讃美歌を聴き、親には見せない娘の姿を知る事ができました。日々の生活から少し離れ、親子でゆったりと過ごし、おだやかな気持ちになれました。

【瀬戸田から・曾我のかちゃん】  
みんなのまえでさんびかをうたってどきどきしたけどみんなにはくしゅをもらってうれしかったです。  
知らない人であつてもだちになれてうれしかった。

ののかより。



【向島から・佐藤恵子姉】

十月十日（月祝）東広島市の憩いの森公園へ総勢約18名で行って来ました。例年は九月のところ十月になりました。暑かった夏も過ぎ、紅葉もこれからという時期、秋のレクリエーションに車で一時半ぐらいでしょうか。出かけました。子どもたちが5人で寂しかったです。

広い森を切り開き整備され、あちこちに木の椅子や机が備え付けてあり広場になっていました。小高い丘に登り、昨日の雨で登りにくいところを後の人に押しもらいながら登りました。たいした距離ではなかったので日頃よく散歩するので造作もなかったですが、初めての所で少し不安になりました。迷子にならず私達グループの場所に到着しました。



散策を終え、焼き芋担当のクツプ先生たちが用意してくださったサツマイモとジャガイモをおいしく頂きながらお弁当を食べました。その後、賛美リーダーの綿谷兄のリードの元、賛美の時間をもちました。そして恒例の綿谷姉の腹話術を楽しみました。そのあと自由時間になり、子どもたちは運動も兼ねた遊具で遊びました。大人たちは交わり会話の時を過ごしました。

大きな木々をながめながら空を見上げ、非日常のレクリエーションを楽しみました。

【広島から・檀原直美姉】

十月十日に、東広島市憩いの森公園で行われました。三年前に下見に行ったものの、コロナ感染症が蔓延してなかなか実現しなかったレクでした。お天気が心配でしたが、午後からすっかり晴れて感謝でした。参加者は大人と子ども合わせて18人でした。開会礼拝の後、葉っぱが色づいている山の中のハイキングコースを散策しました。どんぐりがたくさん落ちていて、それをいっぱい集めた子もいました。家に帰って帰ってどうしたかな？バーベキューセットでサツマイモとジャガイモを焼いて食べました。炭火で焼くとなんでもこんなにおいしいのだらうと思います。準備していったバターも好評でした。周りを見ると家族や友人グループなどたくさんの方が、思い思いに秋景色を楽しんでおられました。私もただボーッと座って、風に吹かれているだけで

ラックスできました。

ふとコロナ感染症でこの何か月間かなかなか外に出ることがなかったなあと思いました。子どもたちも遊具の広場で久しぶりにいっぱい遊べたことでしょう。

この日は、みんなで賛美したり手を繋いでお祈りしたり、「人とリアルに出会う」ことの恵みと大切さを感じることができました。

みなさん、またきつとお会いしましょうね。

バプテスマおめでとう

二〇二二年二月十三日、向島キリスト教会で、松本宏樹兄の信仰告白とバプテスマ式が行われました。

【信仰告白】 松本宏樹（向島）

僕は幼少期に向島キリスト教会のダビデ幼稚園に入園して卒園しました。僕と母が教会に来るきっかけを作っていたのは、去年の春に私達に関わってくれた松浦さんです。松浦さんに教会の素晴らしさ、イエス様の偉大さを教えて頂きました。そして家に帰り二人で日曜礼拝に参加しようとお話をしました。そして日曜日になり、教会に来ました。最初は入り口を開けるのに時間がかかりました。いざ入り口に



松本宏樹兄信仰告白

開けてみると、皆さんに歓迎されました。入り口で聖書と賛美歌の本を借りて、賛美歌を歌い、聖書朗読を聞かせて頂きました。それ以後、自宅での祈りをしていきます。毎週日曜礼拝に参加させていただけます。いろいろなことを知りました。聖書に書かれているイエス様がみんなを愛してくださっていることを知り、僕もイエス様のように皆のことを愛していきたいです。

去年の十一月十二日に母が倒れて見るのを見つけ、すぐに救急車を呼びました、病院では、医師にいつ死んでもおかしくない状況を聞きました。すぐに松浦さんに連絡しました。松浦さん

証し・分かち合い



松本宏樹兄バプテストマ

からみんなに祈っていただくと言ってもらえました。

それから二日後、状況が変わり、一月十三日の日付が変わって十四日になり、尾道総合病院から緊急電話がかかり、すぐに親族に連絡しながら病院に行きました。病室に一番乗りで入りました。その時はすでに遅く、00:23分に母の心臓は止まっていました。医師の好意で呼吸器だけ付けられていました。医師からの話を聞くと、呼吸器を外した時間が死亡時間になると言われました。母が生前、私はクリスチャンだからって言っていました。だから僕は、母はイエス様の所に行かれたと思います。

僕もクリスチャンになりたいと思い、牧師の大谷先生に相談しました。先生からも役員会の皆さんに話をして頂き、皆さんに賛成をいただきました。僕はうれしかったです。

僕はみなさんが喜んで参加できるように、向島キリスト教会のみなさんと力を合わせて行きたいです。まだイエ

ス様の偉大さを知らないみなさんに、伝えていきたいです。

### 証し・分かち合い

#### 【招かれて】佐藤知津子(向島)

初めて聖書に触れたのは、二十歳の時、西洋の絵画や文学を理解するために必要と感じたからです。

しかし、手にした聖書は数ページで投げ出してしまいました。長い間そのことすら忘れていました。

結婚して勤務、家事、育児と忙しい日々の中で、俳句なら少々の時間でもできるのではと、社内にあった「俳句同好会」に入りました。

そこで出会ったのが、先輩のNさん。彼女はクリスチャンでした。クリスマスや特別のイベントがある時に誘われ、五回に一回くらい、渋谷行っていました。なんといつても、時間がなかつたからです。三年くらい経ち、もし信じらるならキリスト教が良いと、それも長続きするためには近くが良いと、この教会の門を叩きました。

当時の牧師は南沢先生で、「信仰とは99%の疑いと1%の信仰と遠藤周作は言っています」のお言葉に、1%くらいならあるかもしれないと受洗の決心をしました。

同じ頃、関東に住む妹の「自主保育」の一人と気が合い、「うちに来ませんか」と誘われ、行ってみると、牧師夫

人でした。ふたりとも美大出身ということもあり、色々話すうちに「タンポポはだれも教えないのに風に乗って種をとばす」大きな力が働いていると感じ、その方は受洗の決心をしたと知り、相談したわけではなく、ほぼ同時期にそれぞれの趣味を通して道が開かれました。

私の家庭のことを言いますと、その後母が受洗、母が亡くなった後を継ぐように父が教会へ来るようになり、ミッション系の大学へ行った娘と共に受洗しました。妹の家は息子が受洗しました。芋づる式です。

今でも本当にイエス様に招かれたの自信がありませんが、教会生活を続けているうちに答えが見つかることに希望を持っています。

マリアさまのように

「主のはしためにして下さい」

「今の労苦は十分だったでしょうか」

「環境破壊、テロや戦争が多くの人々を亡くならせる人間の愚かさを憐れんで下さい。」

と、毎夜尋ね、祈ることを日課としております。

#### 【ろごす腹話術と私】

練谷則子(向島)

私は独身時代に、春風一朗師匠のロゴス腹話術に出会いました。そして人形のゆうちゃんとともに教会学校のイベント等で腹話術をさせていたっていました。けれども、その後、結婚し



て大阪から広島に移り住み、子育てに追われ、ロゴス腹話術からは20年間すっかり離れていました。

そんな私が、再び春風エリサベツさんとの不思議な出会いにより、また、ろごすに戻ってゆきました。月一回の倉敷での練習を積んでいき、2級、1級と昇格していき、この度十二月の一日研修会にて初段に合格致しました。やっと「春風」の名前を頂くことになりました。嬉しいことです。

実は二〇二二年の年末に私の家が全焼致しました。火事の原因もよく分からないまま、もちろん人形のゆうちゃんも燃えてしまいました。その時、春風エリサベツさんが、病気でお母さん(人形の持ち主)を亡くした人形のトコちゃんを、私にどうかと勧めて下さり、トコちゃんと、トコちゃんを入れる為のエリサベツさん手作りの革のカバン(前のお母さんが使っていた)も一緒に譲り受けました。



そのカバンのポケットの中に手作りの「字のない本」（色だけでイエス様の十字架の救いを表した本です）がありました。きつとトコちゃんの前のお母さんが腹話術の時に使われていた物だと気づき、初段の試験の時にはぜひ、その本を台本に入れ込んだ演技をしたという思いが与えられました。その時に「イエス様の救いを伝えたい！」という思いもトコちゃんと共に譲り受けたように感じました。

去年は、地域の高齢者の方たちのクリスマス会に呼んでいただき、トコちゃんと一緒にボランティアをさせていただったり、教会のクリスマス祝会でも披露させていただきました。トコちゃんのことを「かわいいね」と言っていたり、「腹話術楽しかったよ」と言われると、本当に嬉しいです。

二〇二三年は、このトコちゃんともにも益々主の御用をしていきたいと願っています。

### 【オンラインでの主の恵み】

水戸川佳子（向島）



内海部会の皆さま、コロナ禍で集まることが難しく不自由な日々が続きます。

す。そういう中でも、向島キリスト教会では日曜日の礼拝が毎週、行われ、教会員の中の交わりが持てるのは、大きな励ましとなっています。コロナ禍で改めて、日曜日ごとに教会に来ることのクリスチャンの恵みを感じました。

もう一つ、神様の恵みを感じたのは、パソコン、スマホを使つてのデジタルトランスフォーメーション（DX）化が進んだことです。個人、教会、内海部会、同盟の間を蜘蛛の巣のように張り巡らされました。同盟、関西部会が主催する会を教会の皆さんと参加することができ、離れていても繋がることのできる味わいました。これは、コロナウイルスが収束しても元には戻らないものではないでしょうか。オンラインでは音声が届きにくかったりなどのハプニングはつきものですが、往復の時間や交通費がかからないというメリットがあり、私でも気軽に参加できてうれし

い。思い起こせば、六年前に女性会全国委員会が行われる早稲田の同盟事務所にて着けなかつたのがスマホを買うきっかけとなりました。今、何とかスマホを使いこなせているので、DX化の波に間に合ったということでしょうか。「見なさい。その時が来ます。いや、すでに来ています。」ヨハネ16:32

### 【バプテスマから二十年】

加藤民子（瀬戸田）

ハレルヤ。主の御名をたたえます。私が次男を授かったときに神様をたたえ、この子にも神様をたたえて生きてほしいと命名した賛（たたえ）が二十歳を迎える記念の年です。私もバプテスマから20年です。

二〇〇三年七月六日、三ヶ月令の賛はクーンハン（手さげの赤ちゃん用カゴ）の中でやすやすと眠っている中、瀬戸田サンセットビーチにて角野牧師にバプテスマ式をして頂きました。

父、母、祖母、おじ、いとこ、長男憲太と、瀬戸田バプテスト教会の皆様総勢21名が記念写真に笑顔で写っています。本当に感謝でした。（写真：教会員久保姉が撮影）



2003年瀬戸田バプテスマ式

今台所でおでんを煮ながら、証を書いています。

賛も就職が決まり、春から広島で一人暮らしの予定です。食事作りなど不安いっぱい、私は手書きのレシピノートをプレゼント予定。賛の誕生は因島で、臼井牧師夫妻がお祝いに来て祈って下さいました。瀬戸田バプテスト教会で角野牧師に幼児祝福式をして頂き、夫の仕事で福山へ引っ越してからは、日本基督教団松永教会で二歳〜小学生は、CSに通いました。

私は「子どもたちを私のところへ来させなさい。」というイエス様のみことばに励まされて三人の子ども達と教会に通ってました。その後、私が病気で入院し、因島の実家に家族で帰りました。

私達夫婦も守られ銀婚式を迎えます。家族の支え、主の守り、背後の祈りあつての幸せです。私も子ども達と一緒に成長していきたいと願っています。

二〇二三年 アドベント



# 教会短信

## 小豆島バプテスト教会

新型コロナや教会員の高齢化のため先行きが見えず、不安いっぱいになり始めた二〇二二年度。

○四月十七日 日本基督教団内海教会 イースター礼拝に出席。

○五月二十九日 井上先生の礼拝。教団引退牧師中村先生に年一回説教。

○七月二十四日・九月十一日 コロナのため井上・中村先生来島中止。

○九月十八日 クップ先生による交換講壇。台風のためリモートで行う。

○十月十六日 井上先生と内海教会教師を交えて月一回の合同礼拝決定。

○十二月十八日 中村先生の礼拝

○十二月二十五日 内海教会と合同クリスマス礼拝を当教会で行う。二つのアドベントクラウンが並び、若夫婦と赤ちゃんも加わった礼拝、3年ぶりの



井上師・中村師を迎えて



教団内海教会との合同クリスマス礼拝

手作りカレーに舌鼓、「久しぶりに楽しかったね」と笑顔が広がりました。不安いっぱいでも始まった二〇二二年度が、恵みに溢れた年になりました。「説教に行きますよ」と言ってくださる先生方、内海教会との交わり、新しい礼拝出席者、リモート環境が整ったこと、そして何よりも教会員の健康が守られ、礼拝出席ができたことは大きな喜びです。新しい年も神様の導きを信じ、心を合わせて祈っていききたいと思えます。

(庫本由美子)

## 向島キリスト教会

二〇二二年も新型コロナウイルス感

染の波が収まらない中ででの活動になりました。

一月三十日に、前週の礼拝出席者に感染者が出ました。第五週礼拝は讃美と証の礼拝と松本宏樹兄の信仰告白とバプテストマ式の予定でしたが、牧師家族だけの礼拝に変更になりました。信仰告白式とバプテストマ式は二月十三日に延期して行われました。

四月十五日には受苦日礼拝に5名が出席して行われました。四月十七日のイースター礼拝は21名が出席、今年もコロナウィルスの感染防止の為、卵隠しと愛餐会はできませんでしたが、多くの方々と主イエス様の御復活をお祝いできました。

四月の教会定例役員会で、二〇二二年度主題聖句として「あなたの行く道すべてにおいて、主を知れ。主があなただの進む道をまっすぐにされる」箴言3:6をテーマとして ①家族や近所の方に福音を伝える機会を持つ ②互いに相手の内に主が共にいると意識していると信じ、心して心を合わせてともに歩むと決めました。

五月十六日に例年通りの日程で定期教会総会が行われました。出席13名、委任状提出7名で、牧師の任期を一期延長することを含め、全ての議案が承認、可決されました。

六月十九日父の日ですが、今年も子どもの日、母の日を合わせて「家族の日」として礼拝し、大人と子ども全員にプレゼントをしました。

九月十八日は「敬老の日」でした。女性会から70歳以上の方々にお祝いのプレゼントが有りました。部会の講壇交換の日でもあり、大谷師は瀬戸田教会に行き、向島は、瀬戸田教会の信徒伝道者の中川純良師でした。午後一時より共同墓苑で清掃と合同礼拝の予定でしたが、雨の為、担当尾道西教会、合同礼拝のみが行われ、共同墓苑の会計担当の大谷師が出席しました。

九月二十三日の同盟の全国信徒大会に、女性5名、男性2名が参加しました。

十月十日、三年ぶりに部会の秋のレクリエーションが、東広島市の憩いの森公園で行われ、天候にも恵まれ、女性4名男性1名が参加し楽しい時を過ごしました。大谷師は帯状疱疹が子供に感染する可能性があり、不参加でした。

十一月十三日、久し振りに近隣教会の先生を迎えての礼拝になり、日本基督教団吉和伝道所の島田好国牧師にご奉仕戴きました。



島田好国師 (教団吉和伝道所)

十二月十八日、地域にクリスマスの喜びを伝える街角クリスマスキャロルが向島駅二階の駅コンで行われ女性8名男性2名が参加しました。

十二月二十四日 クリスマスイブ礼

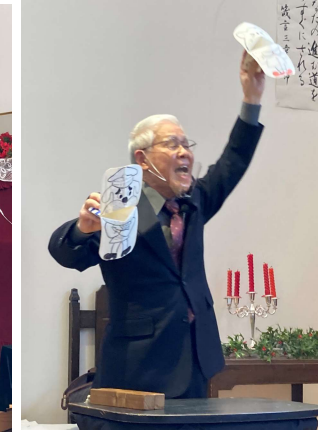


向島：クリスマスコンサート

拝が14名が出席して行われました。クリスマスライブ礼拝に続き、これまでコロナ禍で行えなかったコンサートがフルト奏者・岡野映さんを迎えて行われました。教会員、客員、求道者12名が出席、近所の方、友人5名が出席、楽しい時が持たれました。



街角のクリスマスキャロル（尾道駅2F）



向島：クリスマス祝会



十二月二十五日にクリスマス礼拝が教会員家族、友人を含め28名が出席して行われました。今年も祝会が行われ、出し物もあり楽しい時がもたれました。一月一日 二〇二三年は元旦が聖日なので元旦礼拝として聖日礼拝を守りました。  
一月九日 部会新年礼拝がリモートで行われ、当教会から9名が出席、大谷師の説教の後、参加者一人一人が近



向島：元旦礼拝

況報告、各々の牧師が教会の報告と祈りの課題を伝えた後、各々の代表者が他の教会の為に祈り、実りある時を終えました。  
(大谷孝志)

### 土生バプテスト教会 重井集会所

- 四月十七日 イースター礼拝 墓前礼拝 土生バプテスト教会総会
- 五月十五日 教会総会
- 五月二十四日 関口トモ子百天（93才）
- 七月七日 平和礼拝（戦後77年）  
重井幼稚園、田熊こども園
- 十月一日（土）田熊学園の運動会。
- 十一月十九日 森春子百天3年記念会
- 十二月十五日 田熊認定こども園  
クリスマス礼拝
- 十二月十六日 重井幼稚園

- クリスマス礼拝。祝会
- 十二月二十五日 土生教会
- クリスマス礼拝
- 十二月二十七日 田熊幼稚園  
（元園舎にて）小学生のクリスマス会
- 十二月二十七日 村上萬葉百天  
(林原弘)

### 瀬戸田バプテスト教会

二〇二二年に入ってから、移住されてきて熱心に礼拝をささげ、女性会や、中学校後援会でも積極的に活動されてきた伊澤由香里さんが病に倒れ、闘病の末、天に召されるといふ出来事がありました。とても大きな喪失感が教会に広がりました。それ以外にも、礼拝や各集會に様々な事情で来られない方が増えて、人間的にとてもさみしい気持ちがあります。しかし、主は、二人三人の小さな群れを決して見捨てることなく、顧みて、寄り添い、様々な新しいことを行ってくださっています。その神さまが働いてくださっていることを忘れずに、それぞれの島で、地域でささげられている礼拝を大切に、近隣の方々とお交わりの中で証をし、という地道な歩みを忍耐強く続けていくことが求められています。  
原での木曜礼拝は、参加される方の都合に合わせて、十月からは金曜日になりました。瀬戸田でも、原でも、中島でも、「今日、ここで礼拝をささげたい」とまっすすな思いで来られる方々



瀬戸田：イースター合同礼拝

とともにささげる礼拝は、人数の多い少ないではなく、とても心励まされています。たくさんのお恵みをいただきました。以下、トピックとしていくつか分ち合わせていただきます。

①今年も、イースター、収穫感謝、クリスマスと合同で、楽しくにぎやかにささげました。寒さ、暑さ、雨風に左右されずに、いつも楽しみに日曜日の朝集ってくる一人ひとりに力を受けています。

②島の介護施設で働いているインドネシア人ラトナさんが、友人を連れて礼拝に来てくださいました。十一月の時点で来日四カ月でしたが、日本語がとてもお上手で驚きました。

③クリスマス・イブキャンドルライトサービスに、島に移住してきて、「海辺の小さな図書室」という素敵な空間



瀬戸田：夏のお楽しみ会

を提供している方が、初めて来てくださいました。  
④今年のメンバーは2人でしたが、キャロリングで近隣の方々や信徒のお宅を訪問して、クリスマスの喜びを賛美で



瀬戸田：収穫感謝合同礼拝

分ち合うことが出来ました。訪問していくことの大切さを毎年感じています。

⑤中島のクリスマススタ礼拝には、いつも中島の方々を覚え、みかんの季節にきてくださる東京平和教会牧師久保園奈津子牧師が東京の礼拝後、飛んで来て下さり、クリスマスメッセージを届けてくださいました。その日は、中島集会所始まって以来初、島で芸術活動をされている柴田紘子さん、木室陽一さんご夫妻がトランペットとチューバで演奏をしてくださいました。そのご友人も集い、11名の大人、3名の子どもたちと礼拝が出来て、本当にうれしく恵まれました。また、「きよしこのよる」の讃美歌を、作られた当初と同じくギター伴奏で歌いました。ギターで演奏してくださったのは、中島の自然を守るために、毎日海辺の清掃活動



瀬戸田：クリスマス合同礼拝

をしたり、移住者の相談役として奉仕をされたりと大忙しの富永正一さんです。お母さまが、中島集会所の中心メンバーとして働かれていました。11名中、7名の方は、求道中の方々も含め、初めて教会に来られた方々です。礼拝と交わりが出来、神さまのお招きに心から感謝しました。中島クリスマス礼拝に関しては、駆けつけてくださった久保園師が詳細を書いてくださいましたので、合わせてお読みください。  
(石塚多美子)

【中島集会所のクリスマス礼拝】  
久保園奈津子

私は二〇一七年に伝道師になってから、4回ほど中島集会所を訪問しています。羽田から飛行機に乗り松山空港まで1時間30分、タクシーで高浜港ま



中島集会所：クリスマス礼拝 久保園師を迎えて



で20分、フェリーで70分、高速船なら40分で中島の大浦港に到着します。最短で4時間程度なので、東京平和教会の礼拝を終えて出発しても、八時から夕礼拝に充分間に合います。

コロナの影響で、ここ3年間は伺えませんでした。昨年十二月二十五日のクリスマススタ礼拝に出席して、メッセージをさせていただきました。

礼拝堂に入ると、なんと、いつもの倍以上、10人の方々が始まるのを待っていました。わたしは、高速船が強風で揺れたのと、船内の灯油の臭いで酔ってしまいました。礼拝の前奏曲を聞くと、心が震えました。その日奏楽を担当してくださったのは、ご夫妻で、奥様がトランペット、ご主人がチューバで、バッハの「主よ、み前に我ら集いて」を演奏してくださいました。20畳位の礼拝堂に、力強いバッハの曲が

響き渡りました。神に対する深い尊敬と感謝が湧き上がってきました。インマヌエルの神が皆のただ中にいて、愛を注いでくださっているのを感じました。未信者の方を救おうと、この時を計画されたのだと思います。皆さん、クリスマスのメッセージを熱心に聞いてくれました。最後の賛美は、きよしの夜です。島の移住者のお世話をしている方のギター伴奏で賛美し、礼拝は終了しました。礼拝後は手作りチーズケーキと島の甘いみかんなどでお茶の時間を持ちました。子どもたちのおリクエストでギター伴奏の方が、手品を披露してくれました。ネタばれで、大笑の楽しいひと時でした。

島には、自分らしく個性的に生活している移住者がいます。島に在住する牧師がいたらどんなに良いでしょうか。中島集会所の庭に大きなみかんの木が

あって、何ヶ月も美味しいみかんがたわわに実ります。このみかんのように、島の人々に福音が伝えられ、信仰の実りがありますようにと祈っています。

### 【安下庄集会所】

二〇二二年は安下庄集会所も四年目に入り、礼拝の充実を目指して礼拝を守りました。四月からは、安下庄に移住して来られた方が出席されるようになります。少なくとも3名で礼拝を守ることができるようになったことが大変励みになりました。また、第五日曜には石塚先生との講壇交換によって朝夕の礼拝、第五日曜がない月は第三日曜に夕拝を持つことができ、この夕拝にも新しい方が出席してくださるようになり感謝でした。

十二月二十四日には、初めてキャンドル・サービスを行い、近所の子ども2名を含む8名で燭火礼拝を守ることができたことは、この上ない喜びでした。その準備のために一カ月かけて案内のチラシを配りましたが、空き家の多さ、人口の減少等、現状の把握をすることができ、今後の安下庄の伝道ビジョンをどうすべきか課題が与えられたことも恵みの一つとなりました。

(中川純良)

## 広島平和キリスト教会

広島平和キリスト教会ではコロナ感



広島平和 新年礼拝

染予防のため、礼拝を午前十時と十一時半に続けて分けています。

感染者が少ない時は合同礼拝にして十一時からはじめます。第二礼拝は子どもが多いのでCS礼拝にして、子ども達の両親と役員の方々にお話を順番にして頂いています。子どもたちにも奏楽や献金当番などの奉仕をしてもらっています。T姉がメッセージの英訳をして下さっています。

礼拝はリモートやFacebook Liveでの配信も行っており、後からも聞けます。コロナ禍で教会に来られなくなった方や施設に入った方、入院中の方もいます。八月にはM姉が天に召されました。十一月に予定したコンサートも感染

者が増えたため中止になってしまいました。しかし、良いこともありました。毎水曜日に二人の方が聖書の話の聞きに教会に来られるようになりました。信仰に繋がるように祈っています。

キャロリングには近所の方が初めて参加して下さいました。聞いている方にも喜ばれ拍手をして頂き、恵まれたキャロリングでした。

(トウン・カン・カップ)

二〇二二年九月十八日、井上先生をお迎えして礼拝を行いました。コロナ禍真っ只中の交換講壇でした。いつもなら礼拝後には食事をしながら交わりの時を持つのですが、それもままならず、礼拝前15分位の交わりの時となりました。

「敵を愛しなさい」という題でメッセージをされました。簡単なようで本当に難しい事です。「敵を愛しなさい」という言葉にも、私たちは慣れてしまっています。「敵を愛しなさい」難しい言葉ですけど、イエス様の愛が迫ってくる言葉でもあります。しかし、イエス様が私たちにやって下さったことなのだと言われているように思います。

礼拝後は個々に先生と話をし、和気藹々のうちに時間が過ぎてしまいました。あっという間に帰られてしまつて、コロナさえなければもっと交わりができたのではないかという思いでした。

(鵜野早葉子)

# 「内海で生まれた讃美」

二〇二二年度はJBの「聖言の泉」の今月の賛美歌に、内海部会から次の賛美の動画がQRコードで紹介されました。

## 5月号「この空をこの海を」

暖かい五月晴れの中、外に出かけたくなる季節、大自然の中で神様の創造のみわざを感じたい。この賛美は、教会のキャンプやハイキングなどで山や海に行ったときに、一緒に歌えたいいなと思つて作った曲です。



8月号「この海を渡ろう」  
その昔、福音丸伝道によって内海に信仰がもたらされました。そして今、瀬戸田垂水港から祈里丸が福音を携え



## 見よ、主は新しいことをする

作曲：Tuang Khan Khup

♩ = 90

A C#m7 D E7 A F#m

見よ主は あたらしいことをするい

Bm C#m E E7

まもうそれが おころうと している

A C#m7 D E7 A F#m

あなたがたは それを知らないのか それ

D E7 A A E7 D

をかたらないのか 主は荒野にみちを 敷き

A E7 D A

さばくにかわを ながれさせる

A E7 D A

主はリバイバルを 起こさせる



て海の上を走ります。疾走感あふれる曲です。  
10月号「あなたの声の方へ」  
内海部会で内海で生まれた讃美集の中から歌いたい曲のアンケートを行い



1位となった曲です。3教会で撮影したものを編集し、一つの動画としました。楽しい賛美の動画となりました。  
1月号「瀬戸の海から」  
東広島市の憩いの森公園で久しぶりに行った内海部会の秋季レクリエーションで参加者みんなで賛美し楽しく撮影しました。風音が気持ち良いです。

# 「内海で生まれた讃美」

## 見よ、新しいことが起こる

作曲: Tuang Khan Khup

見よ あたらしいことが 起こる  
主は 荒れ野にみちを つくる

二〇二二年度の日本バプテスト同盟の主題聖句が、イザヤ書43章19節に決まり、内海部会でも同じ聖句を主題とすることになりました。そこで、綿谷剛兄がこの聖句を新しい聖書協会共同訳を歌詞にして曲をつけ、内海部会の総会でみんなで賛美しました。

また、九月二十三日に行われた全国信徒会では、小栗献先生の講演とグループ

## 見よ、主は新しいことをする (イザヤ書43:19)

作曲: 綿谷 剛

見よ 主は あたらしいことをする いまや  
それは 起ころうと している  
あなたが たは それを 知らないのか た  
しかに 主は 荒れ野にみちを 荒  
れ地に かわを置く

これら同じ主題聖句から作られた3曲を内海で生まれた讃美として、楽譜で紹介したいと思います。主が起こし

プでの分かち合いの後、リタージカルな式文での閉会礼拝が行われ、その中でテーマ曲としてクップ師が作曲された「見よ、主は新しいことをする」と同じく応答唱として「見よ、新しいことが起こる」が賛美されました。



(向島 綿谷剛)

て下さる「新しいこと」を待ち望み、体験していきたいですね。



「内海で生まれた讃美集I」がご入用の方は向島キリスト教会にご連絡下さい。伴奏譜や参考音源は下記HPへ。  
<http://www.333.ecnet.jp/naikai/praisebook/index.html>  
 また、JB掲載のYoutube動画は、「Watasan's Praise Channel」  
 (https://www.youtube.com/channel/UCGuH9sh16urEvZ4XAxz0PHg) でご覧いただけます。

### 【編集後記】

福音丸新報は発行時期を一月に変更して二回目となりました。当年度のクリスマスと新年礼拝の様子を報告できるようにになりました。

今回は、講壇交換の様子や、久しぶりに行われた野外レクリエーションの様子を詳しくお伝えすることができ、また、信徒の証しも多く掲載できました。原稿を寄せて下さった皆さんに感謝致します。

ご愛読いただいている皆さまには、これからも内海部会の様子をお伝えしていきたいと思っております。ぜひ内海での働きのためにお祈り下さい。

(編集委員 石塚多美子、

大谷孝志、綿谷剛)

# 福音丸伝道継続事業献金感謝

## 2021年度 献金感謝一覧

団体	教会 (内海以外)	教会 (内海)	個人	個人
厚木幼稚園	厚木教会	小豆島教会	荒川貞雄	原田喜代子
関東学院教会	大阪神愛教会	瀬戸田教会	臼井嘉男	益巖
関東学院小学校	帯広伝道所	土生教会	蟹川京子	松平季子
関東学院六浦・小学校	曾根教会	向島教会	坂田幸代	丸本勝彦
関東学院中・高	鼓ヶ滝教会		柴田豊子	丸山康
子羊の家	奈良佐保教会		関田明美	三浦花子
捜真学院	西岡本教会		田頭さやか	森内和子
捜真小学校	日ノ本教会		田辺幹夫	森島恵
	深川教会		丹野真人	横瀬実
	松島教会		中本仁一・宣子	
	若葉台伝道所		野村篤子	
8団体	11教会	4教会	20名	合計: 43

### 内海伝道団会計報告・予算

項目	2021予算	2021決算	2022予算
収入			
1. 教会・協力団体	250,000	365,150	250,000
2. 個人	250,000	200,000	200,000
3. 利子収入		11	
4. 前年度繰越金	1,221,378	1,221,378	1,377,268
収入計	1,721,378	1,786,539	1,827,268
支出			
1. 開拓伝道応援費	250,000	250,000	250,000
2. 諸教会応援費	50,000	50,000	50,000
3. 福音丸新報発行費	26,000	29,930	30,000
4. 福音丸新報送料他経費	38,000	49,274	38,000
5. 振替手数料	12,000	5,224	5,000
6. 事務費	10,000	4,843	10,000
7. 活動費	50,000	0	50,000
8. ミモザ会費	20,000	20,000	20,000
9. 讚美集発行費	0	0	0
10. 予備費	1,265,378	0	1,374,268
支出計	1,721,378	409,271	1,827,268
11. 次年度繰越金	0	1,377,268	0
合計	1,721,378	1,786,539	1,827,268

### 感謝とお願い

瀬戸内海伝道団による福音丸伝道継続事業へのご支援を感謝申し上げます。内海部会も年々縮小化する傾向にありますが、皆さまの篤いお祈りとお支えにより、21年度も伝道団として各教会に助成金を送ることができました。小さな群れでの集まりですが、こうして励まし合えることができ、皆さまのお祈りと献金のお支えを心より感謝申し上げます。

振込用紙を同封致します。今年もご支援のほどをよろしくお願い申し上げます。  
瀬戸内海伝道団委員長 石塚多美子  
☆献金の送付は、同封の郵便為替用紙または「瀬戸内海伝道団」口座番号 01340-3-11913 にお願ひ致します。

開拓応援伝道費は各教会の開拓伝道費の補助  
諸教会応援費は中島集会所の補助

県	教会名	郵便番号	住所	電話	牧師・伝道師
香川	小豆島バプテスト教会	761-4121	小豆郡土庄町淵崎甲2071-22	0879-62-2053	井上 正之(代)
広島	向島キリスト教会	722-0073	尾道市向島町16058-22	0848-44-2762	大谷 孝志
広島	土生バプテスト教会	722-2323	尾道市因島土生町1602-1	0845-22-0593	林原 弘
広島	土生バプテスト教会 重井集会所	722-2102	尾道市因島重井町3055	0845-25-0134	(兼)林原 弘
広島	瀬戸田バプテスト教会	722-2411	尾道市瀬戸田町瀬戸田378-1	0845-27-0173	石塚 多美子
愛媛	瀬戸田バプテスト教会 中島集会所	791-4501	松山市中島大浦2107-10	-	(兼)石塚 多美子
山口	瀬戸田バプテスト教会 安下庄集會	-	-	-	中川 純良
広島	広島平和キリスト教会	731-0101	広島市安佐南区八木3-5-17-10	082-872-1150	トウソウ・カン・クワ